

みんなきれいにできたよ

放課後子ども教室(きらきら探検隊)お正月をつくろう
(12月22日：創遊館)

新春特別企画／子(ねずみ)年生まれ大集合

町政スポット／12月定例議会 町営アパートまもなく完成 ほか

まちの話題／青柳健三さん写真談話「郷田を歩けば」と横平写真コンテスト

クリスマス人形劇のつどい 自然観スノーパークオープン ほか



広報

あさひまち

2008年1月号

No. 614

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。



自信と誇り輝く 住み続けたい朝日町をめざして

朝日町長 鈴木 浩 幸

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。
そしてまた、今年も一年、どうか健康に留意され、よい年でありますよう心からお祈り申し上げます。

さて一月一日であります。この日は正に特別な日ではないかと、常々考えさせられております。時というのは不思議なもので、私たちの意志とは関係なく過ぎて行きます。私たち人間は、人知の及ばざる遙かな懐の中で生きているのだなあと考えさせられるのも、一月一日であります。

前年が如何な年であろうとも、除夜の鐘とともに新年を迎えた瞬間、そこにはまた新たな世界が広がってくるのです。この感覚、気持ちの変化は確かに外から与えられたものかかもしれません、この意味は大きいものだと思います。新しい年、ゼロからのスタートは誰にとっても平等であり、そこからこの一年というキャンバスにどのような絵を描いていくかは一人一人のやる気と行動次第なのです。

町では現在、将来の町づくりの指針となる、「第五次朝日町総合発展計画」を策定中であり、平成20年は「定住促進ビジョン」2年目、そして「第五次総合発展計画」実現に向けたスタートの年であります。

「第五次総合発展計画」の基本となる柱は、「地域力」の向上（信頼とつながりによる地域の力）、「産業力」の強化（安定した暮らしができる産業）、そして「定住力」の向上（安心と魅力のある定住環境）であります。この三つの力を総合的、相乗的に発揮し、「いつの時代にも自信と誇りをもち、この町に住みたい、住み続けたい朝日町」をめざしてまいります。この実現に向け、皆様とともに今年も「やる気」と「挑戦」をモットーに全力で邁進してまいります。

遥かに明け行く年の始め、一月一日に、あらためて畏敬の念を込め、すべての町民の皆様がつながるこの一年を過ごされたいことを願ひ、また、皆様にとりまして幸多き飛躍の年となる事をご祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。

あいさつ
新年



年頭のご 謹賀

希望と安心の持てる町づくりを目指して

朝日町議会議長 白田 金次郎

明けましておめでとうございます。
町民の皆様には輝かしい新年を迎えられた
こととお喜び申し上げます。

朝日町には、今年もまた白鳥が姿を見せて
くれました。大谷の田圃や上郷ダム等に飛来
する白鳥の華麗な姿は、常に見る人の心を和
ませてくれるものであります。

さて、昨年は全国高校総体と全国中学校体
育大会において、村山仁君と志藤綾子さんが
それぞれ剣道日本一の栄冠を手になされ、二人
には町民栄誉賞が贈られました。これは、本
人の努力はもちろんのこと、学校の先生、地
域の指導者、保護者の協力、そして長年町剣
道界を支えてきた関係者のたゆまぬ努力が実
を結んだ結果と言えます。

また、昨年は他市町に先駆け、朝日町全域
に超高速通信網が開通し、いよいよ情報化時
代の町づくりに向けた幕が上がりました。

社会・経済情勢にあつては、東京、大阪、
名古屋の三大都市圏の人口が総人口の半数を
上回る一方、当県など37道府県の人口は減少
している状況にあります。また、大企業と中

小企業間の格差、都市と地方の格差、医師の
不足と偏在化など二極化が顕在化しており、
いわゆる社会の格差問題となつてきています。

このほど、インドネシアのリゾート地バリ
島において、一九九七年に批准された京都議
定書に続く、地球規模での環境問題への取組
みが議論されました。これら環境問題が声高
に叫ばれている昨今ですが、朝日町では約20
年も前に、世界に例を見ない空気神社を建立
するなど、いち早くその取組みを行ってきま
した。現在、町ではこの先10年間の町づくり
の指針となる第五次朝日町総合発展計画を策
定しているところでありますが、今後も時代
の潮流に沿った町づくりが求められます。

議会といたしましても、町民の皆様ととも
に希望に満ち安心して暮らせる町づくりを目
指して誠心誠意努力する所存でありますので、
今年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

年頭に当たり、朝日町の更なる発展と町民
の皆様のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し
上げご挨拶いたします。

新春特別企画

子(ねずみ)年生まれ大集合

今年はこれに 熱 "チュー" するぞ!



12月20日現在で、朝日町に住むねずみ年生まれのみなさんは合計で738人。その内訳は、平成8年生まれ75人、昭和59年生まれ90人、昭和47年生まれ80人、昭和35年生まれ100人、昭和23年生まれ152人、昭和11年生まれ131人、大正13年生まれ105人、大正元年生まれ5人となっています。

それぞれの年代のみなさんに『今年はこれに熱"チュー"するぞ!』と題して新年の抱負を語っていただきました。



今年はず年

暦年も回ってねずみ年。昭和23年生れの方は5回目の年回りで、還暦を迎えられることになりました。昭和の奇跡的な復興を支えられた皆様には、労いと感謝の心を添え、迎春のお喜びを申し上げます。

ねずみは、十二支の先頭にあたる動物です。家庭においては、時に煙たがられますが、日本では古くからあやかりたい子沢山の象徴の動物として考えられています。

調べてみると、彼らは南極やニュージーランド以外のいたる所に1800種もいる哺乳類中最大のグループ。マウス、ハムスター、モルモット、そしてミッキーマウス(?)など外来力タカナ語の仲間、結構人間と関係の深い存在のようです。なお、パソコン必携の「マウス」の語源もねずみのマウス(mouse)ですが、辞書では実験用動物としてのハツカネズミが第一訳。家庭や農地に出没するラットとは別科のようです。

ちなみに英単語のマウス(3



林 享佑くん
(大滝・宮宿小5年)

今年のねずみ年は、ぼくにとって、初めての年男です。去年は、ケガをして柔道練習に行けなくて、大会にも出れなくて、とてもくやしい思いをしました。今年はぜったいケガなんかしないで、練習をがんばって、大会に出れるようになりたいです。

6年生からは、和合小学校と一緒にになるので、新しい友達が増えるのがとても楽しみです。

今年はケガをしないで柔道に打ち込むぞ！



秋田から朝日町に嫁いで25年。3人の子育てもほぼ終わり、徐々に自分の時間も持てるようになってきました。

子どもの影響を受け、数年前からサッカーに熱中。モンテディオ山形の試合も年に数回見に行きます。夢はワールドカップやオリンピックでのサッカー観戦。「今年」とは言わなくても次の干支を迎えるまでは絶対に行きたいですね。それがかなう日まで夫婦仲良く健康に暮らしていきたいと思います。

遠藤 伴子さん
(栗木沢・47歳)



ワールドカップ、オリンピックのサッカー観戦が夢



白田 希さん
(松程・35歳)

空調設備工として独立して6年、失敗もあったけど自分なりに一生懸命働いてきました。今年は、働き盛りの36歳。もっと腕に磨きをかけ自分に自信をつけて、町に貢献できるような仕事もできたらと思います。

そして、少し余裕ができれば温泉にでも行って家族サービスをしたいし、若い頃好きだったバイクのツーリングを楽しむ時間を作れたらいいと思っています。

時には温泉でも行き家族サービス



今年も前田沢元氣クラブの皆さんから門松を寄贈していただきました。ありがとうございました。

ouse) は複数形がマウス(mice)になり、特殊な変化をする言葉です。

また、マウスは医学の進歩に大きく貢献した動物です。中東シリアのアレッポに近い砂漠で、78年前に発見された3匹のゴールデンハムスターの子孫が、医学の進歩に多大な貢献をもたらすことになりました。各種ワクチン開発、遺伝子組み換え、日本発の夢の幹細胞であるiPS(万能)細胞の創出等を可能にした、最も汎用な実験動物として有名です。私たちの健康な日々があるのも、彼らのおかげかもしれません。

朝日町に引っ越してから、6年が過ぎました。私がこの町で好きな場所は、スキー場がある朝日自然観です。スポーツの中でスキーが一番得意で大好きです。毎年、お父さんに連れて行ってもらって、練習しています。

3月には、大谷小学校を卒業です。中学生になったら、勉強や部活動を頑張りたいです。そして、たくさんの友達ができると嬉しいです。不安もあるけれど、期待もいっぱいです。

白田 美優さん
(大谷五・大谷小6年)



いよいよ中学生 不安もあるけれど、期待もいっぱい



清野 忠市さん
(古楨・59歳)

今年は英会話を勉強したいと思います。
私は高校卒業後、家業であるりんご作りを続けてきましたが、60歳を迎える今、自分の夢に挑戦したいと思うようになりました。その夢とは、シニア海外協力隊に行くことです。それには、英語が必須なのです。
今まで培ってきた技術を必要としている人々に伝えたいと思います。どこまで出来るかわかりませんが挑戦したいです。

シニア海外協力隊のため英語を勉強



今年は、小学校生活最後の年となるので、何でも一生懸命に取り組みたいと思います。

特に、がんばりたいのは「さくらバンド」です。今まで以上に練習をして、みんなとぴったり息の合った演奏ができるようになりたいです。

また、家族で今までに行ったことのない所へキャンプに行って、楽しい思い出を作りたいです！

長岡 奎寿さん
(太郎一・西小5年)



行ったことのない所へ キャンプに行きたい



大谷 順一さん
(大谷五・23歳)

私は今年もこれまで以上、大自然を満喫するドライブに「熱チュー」したいです。高校卒業後、隣町の土木会社に就職した私は仕事をしているうち、自然の魅力に引き込まれました。愛車「ランクル」に乗り、自然観の周辺・柳川から西川町へ抜ける林道をよく走っています。走行中、また休憩時の空気の美味しさや景観は、いつも新鮮で心を和ませてくれます。
今年は友達に聞いた林道を走り自然を更に楽しみたいです。

愛車「ランクル」で自然を駆け巡りたい





吉田 芳美 さん
(西船渡・83歳)

61歳から始めたソフトボールのお陰で、病気らしい病気をしたことが無く感謝の一言だな。今年も週3回のソフトボールとグラウンドゴルフを楽しみながら、仲間との語らいや健康づくりに精を出したい。それから、この夏も最上川に舟を出して「流し網漁」ができるよう体を鍛えておかなきゃな。

もうひとつ、時々遊びに来てくれる「ひ孫」の顔を見るのが何よりも楽しみだ。

運動と“ひ孫”とのふれ合いが 元気のもと



今年熱中したいことは「ボディパンプ」。現在働いているスポーツクラブで毎日行われているスタジオレッスンのことで、そのインストラクターを目指して去年の夏からはじめました。先日その仮認定を取得し、11月から担当しています。

今年の1月にはその本認定試験！尊敬する先輩たちに少しでも近づけるよう、そして自分らしいレッスンを作れるようがんばります！

渡辺 奈美 さん
(四ノ沢・23歳)



スポーツクラブのインストラクター 認定試験をがんばる



大隅 菅井 滯 さん(11歳)
清一さん(71歳) きよさん(71歳)

今年はいよいよ中学生。不安もあるけど、同級生もたくさん増えるので楽しみ。友達もいっぱい作りたいな。

部活動は今のところ卓球部かなあ。子ども会の行事でみんなで卓球をしたとき楽しかったし。でも、ほかにもいろいろあるので迷ってます。

それと、さみしいけど私たちの和合小学校が3月で閉校してしまいます。偶然だけど私たちが最後の卒業生。残り3ヶ月の小学校生活で思い出をたくさん作りたいです。

中学校では卓球部かな？(滯さん)



これまで、夫婦二人三脚、りんご一筋でがんばってきました。若いうちに無理をしすぎたのか、最近では体もあちこちつらいところが出てきて、週1回整体に通いながら、毎日がんばっています。

でも、私たちの不安を知ってか知らずか、最近は3人の孫たちが手伝いをしてくれるようになりました。正直言って祖父母としてこんなにうれしいことはありません。孫たちの成長を見つつ、家族みんなが健康に暮らす。そんな毎日があれば何もいらなかな。

家族が健康に暮らせれば何もいらなかな(清一さん・きよさん)



定例議会

12月7日から11日まで5日間の日程で町議会12月定例会が開催され、平成19年度朝日町一般会計補正予算をはじめ、4特別会計補正予算案が可決されるなど合計18議案が可決されました。

補正予算案以外の主な議案としては、和合小学校が平成20年4月に宮宿小学校と統合することから、児童の通学に支障をきたさないよう、朝日町スクールバス設置および管理に関する条例の一部を改正する条例について、また今年7月の大沼湖畔の家解体に伴う同設置条例を廃止する条例の制定等について審議・可決されました。

なお、道路整備の財源確保・維持を求める意見書、及び医師・看護職員確保対策の充実強化を求める意見書がそれぞれ議員発議として提出され、全会一致で可決されました。

◎寄付採納報告（敬称略）

- ▼金員100,000円 まちづくり寄付金として（移送用車椅子購入に充当）
朝日町大字宮宿 若月 俊秀
- ▼陶磁器（古伊万里等）32点、陳列ガラスケース1基 創遊館展示品として
朝日町大字常盤 阿部 宗一郎
- ▼カーブミラー4基 交通安全の推進のためさがえ西村山農業協同組合 代表理事組合長 今田正夫、全国共済農業協同組合連合会山形県本部運営委員会会長 遠藤芳雄
- ▼金員100,000円 まちづくり寄付金として
寒河江市幸町 日東ベスト株式会社
代表取締役社長 内田 淳



日東ベスト(株)からの寄付金を受取る町長

町政報告

これまで本誌に掲載されたもの以外の報告事項を中心に紹介します。

■平成19年度職員採用試験

10月18日に二次試験を行い、一般行政職1名、臨床検査技師1名の採用を内定。

■耐震性貯水槽4基を整備

6月に発注した耐震性貯水槽4基（四ノ沢、松程、栗木沢、大暮山）については、9月28日をもってすべて完成。

■山形直行バスの実験運行

山形市や山辺町の高校に通

学している学生の利便性の向上と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、本年10月1日から山形直行バスの実験運行を実施中。定期券購入者は13人、他に1日あたり一般町民数名の利用といった状況。

■地上デジタル放送用「新朝日中継局」が開局。11月1日から放送中

新宿区館山に地上デジタル放送用「新朝日中継局」が完成。11月1日からNHK及び民放4社同時に地デジ放送を開始。今後は、各共聴組合等と連携して受信状況調査と難視聴対策に取り組んでいく。

■滞納対策を本格化

税源移譲の税法改正により、税負担が増大している等の理由から、徴収率が低下している。その現状を踏まえ、町税だけではなく税外収入金を取り扱う関係各課の連携を深め、実態を把握するとともに効果的な収納対策を進めるため10月29日に「町税等滞納対策委員会」を設置。今後、具体的な対応策を練っていく。

■町内新增築家屋の着工状況

本年中の家屋の新築は専用住宅が14棟、事務所や車庫などが15棟、増築は住宅が11棟の見込み。昨年比専用住宅の

新增築はほぼ同数だが、車庫や物置等の新增築は減少。

■インフルエンザ予防接種に助成金

18歳以下でインフルエンザ予防接種を受けた者に対し、1500円を上限に費用を助成している。また、高齢者のインフルエンザ予防接種は1500円で実施しており、インフルエンザの感染予防と経済的負担の軽減を図っている。

■ふじの生育・出荷状況

りんごの主力品種「ふじ」につきましては、「さび」が

多く一部着色が悪いなど品質に若干の問題が見られるものの、蜜入り状況は例年並み。

■米価格の下落が懸念

平年並の作況で品質面でも順調に推移してきたが、概算払い金が1俵あたり1万円と前年より1,700円も下回っている状況。米価の下落が心配される。

■りんごの輸出状況

シナノスイート、王林及び「ふじ」について台湾及びタイのほか、試験的に香港へも輸出。現地の評価も高く今後とも販路拡大に努めていく。



12月21日に開催された臨時会の様子

任期満了に伴う朝日町農業委員会委員選挙（11月29日告示、12月4日投票）は定員11人に対し10人が立候補。前回と同様に候補者全員が無投票での当選となりました。

改選後初めての臨時会が12月21日開催され、会長に鈴木秀一氏（松程）、会長職務代理者に安藤善徳氏（杉山）が選出されました。

農業委員会は町の農業振興対策や、農地の有効利用促進などを審議する機関として重要な役割を担っています。

所有権の移転や転用など、農地に関することは、お近くの農業委員、または町農業委員会事務局へお問い合わせください。

農業委員会事務局 67-3307

14人の新農業委員決まる

任期：平成19年12月21日～平成22年12月20日

■会長
鈴木秀一（松程）

■会長職務代理
安藤善徳（杉山）

■農地部
部長 菅井賢一（沼向）
副部長 渡邊吉助（送橋）
部員 小林晴雄（大沼）
部員 齊藤興治（常盤）



新会長の鈴木秀一氏

部員 長岡健治（常盤／農業協同組合選出）
部員 今井正仁（新宿／土地改良区選出）

■農政部

部長 長岡健一（石須部）
副部長 白田榮一（大谷一）
部員 遠藤貞悦（栗木沢）
部員 宮本建一（西船渡）
部員 長岡啓治（常盤／町議会選出）
部員 阿部賢一（今平／農業共済組合選出）

※茶文字は選挙委員、それ以外は選任委員



復旧は3月にずれこむ予定

■主要地方道長井大江線（大船木地内）災害復旧工事の残土を旧町道松程東線（旧昭和橋西岸）へ受入れ
同工事における最上川河川の撤去土砂を利用し、町道松程東線の埋立を実施中。
法面崩落に対するネット設置工事について、年内完成の予定であったが、更なる土砂崩落の危険性のため、完成は2月になる見込み。
※その後復旧はさらに延びて3月になるとの報告がありま



埋め立てが進む現地

した。（12月20日現在）
■最新の医療機器を整備
人工呼吸器、および大腸の精密検査を行うビデオ大腸スコープを10月に、レントゲンの昇降フロッティング撮影台を11月に購入。より安全で安心できる医療環境を図り、サービスの向上に努めている。

■和合地区地域づくり計画書を策定。町長へ提出
平成17年と18年の2年間に及ぶワークショップの提案をもとにした地域づくり計画の策定が完了。11月26日地区民代表から町長に提出された。

■大沼分校の状況について
現在3学級7人の児童に対し、平成20年度の児童数は3名と予想されることから、今後についてはPTA及び区役員と話し合いを実施。今後再度区民との話し合いを継続していくことを確認している。

■人材育成事業「あさひ未来塾」
4つのコースで開塾し現時点での塾生は47人。それぞれのコースでテーマを設け、リーダーを中心に熱心に学習活動を行っている。



快適に子育て!! 朝日町で暮らそう

建設中の町営アパート 10世帯
3月末より入居可能

募集は
2月1日のお知らせ
板にて

オール電化で、IHクッキングヒーターに蓄熱式暖房器、電気温水器。
火を使わないから、火災などに対しては安心だね。

保育園や小学校、医療機関など子育てに必要な、いろんな施設が近くにあるって便利だね。

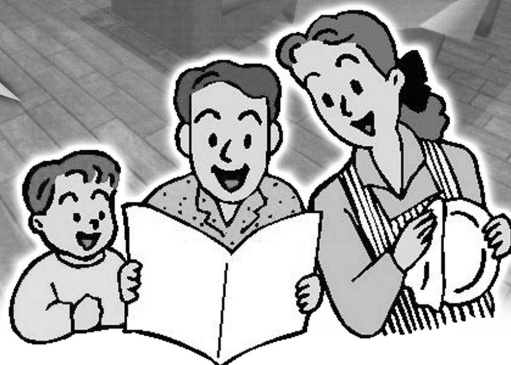
対面式キッチンだから、育児しながら料理ができ安心。

1階と2階を家族で使える造り。上や下の音をあまり気にしなくていいので、とても気が楽だね。

2階のウォークインクローゼットはたっぷり洋服もすっきり収納。うれしいわ。

いろいろなものが収納できる外物置もあって便利かもね。

国道からも適度に離れていて、車の騒音も少なくいいね。



上のイメージ図は建物東端の部屋、1階南側から見たものです。(家具やテレビは備え付けられていません)

定住促進ビジョンの住まいの事業が着実に進んでいます

広報あさひまち8月号で紹介しました町営アパートの建設工事が順調に進んでいます。3月末からは入居が可能になります。ご期待下さい。

子育て世代の転出を止めたい、更には増やしたいことから、平成19年度からの重点事業として取り組んでいる、

「定住促進ビジョン」。その中の住まいに関する計画は、着実に進行しています。6月には雇用促進住宅を町で購入し「中郷ハイツ」として再スタートしました。購入時は入居率も低かったのですが、現在は満室になっており、定住を進めていく上で大きな力になっています。アパート建設は来年度以降も継続して行っていく予定であり、今後も子育て世代が住みやすい町を目指していきます。

【間取り平面図】

1階・2階で1世帯分のメゾネットタイプ住宅



1階平面図

2階平面図

トータルに子育てを応援する施策です

ふるさと朝日町に住み、すぐ近くに家族や仲間が住んでいるという安心感は、何ものにも代え難いものがあります。町内の子育て世代の方もちろんのこと、これまで町外でアパートを借りていた方も、この機会に、新しい町営アパートに入居してみたいかながでしようか。ご家族でそのような方がおられましたらぜひお知らせ下さい。

町外のアパートに入っているご家族の方にもぜひお知らせ下さい

今回整備を進めている町営アパートは、機能面や安全面で子育て世代の生活に配慮しています。立地面では様々な子育てに関する施設まで徒歩圏内の場所を選定。また、より快適に子育てができるよう、隣接地に広場整備が計画されています。更に入居者が光ファイバーの高速通信網が活用できるよう、町営の住宅にはすべて引き込みが可能になっています。

今後も様々な事業が計画されています

- 町営アパート 平成20年に6世帯分
- 町営アパート 平成21年に4世帯分
- 第2子以降（3歳以上）の保育料は月5000円の定額に
- 6才未満児の医療費完全無料化
- 高校通学の負担を軽くするためのダイヤ改善、バスの増便、山形直行バスの運行

住宅関係の施策としては、更なる町営アパートの整備も計画しており、本年を含めた3年間で合計20世帯分の住まいが提供される予定になっています。

また、子育てする上で最も要となる保育園は、統合保育園として平成22年4月に開園し、施設面、内容面において充実した保育が受けられるようになります。



建設地略図

うにする予定です。また、子育て支援拠点施設として、子育て支援センターも併設した施設となる予定です。（詳細は、今後保護者や地域の皆さん、町職員からなる「基本計画策定委員会」で検討されます）

以上のように、子育てしやすい町を目指し様々な施策が展開されます。ぜひこの朝日町で充実した子育てをしていきましょう。



プルタブ回収(太谷小)

まちの話題



人形劇のボランティアスタッフ

青柳健二さん写真談話「棚田を歩けば」と榎平の写真コンテスト

(12月16日／能中公民館)



榎平賞(審査委員長賞)「輝く 穂波」長岡直道さん(山形市)



保全隊賞(審査委員特別賞)
「稲刈り やうと休憩」小山田正幸さん(河北町)

榎平の写真コンテストに82点の応募

12月16日能中公民館にて、世界的な棚田写真家青柳健二氏(河北町出身)による「棚田を歩けば」と題した講演会が開催されました。

会では青柳氏が、自身のこれまで撮影してきた国内外の棚田の写真をもとに講演。その魅力を語りました。また、講演会に先立って審査された榎平の写真コンテストの結果も発表され、応募総数82点の中から選ばれた10点の入賞者には賞状のほか、榎平の棚田米や地元産のりんごが贈られました。(朝日町からも2人の作品が入賞しました)

今回は、榎平の保全会が中心となって、地区内外のいろいろな力(アイディア、器材、労力、事務、資金、情報などなど)を持ち寄る「実行委員会」形式で実施。そのため、会場の準備や装飾も自分たちで行いました。時間はかかりましたが、会場が出来上がってみると、皆さん達成感があつたようで、文字どおり手づくりのコンテストと写真展になりました。



参加者でいっぱいになった会場



写真の審査を行う青柳氏ら

棚田を守る人々の力に感謝

今回の写真コンテストは、写真家がアドバイザーになり、地元の耕作者が「いい」と思う写真を選んだところがユニークな点。こういう写真コンテストは、あまり聞いたことがありません。

保全会や棚田ママの会みんなで各賞を選びましたが、写真的にもレベルが高く、バリエーションもあり、いい結果になったと思います。

今回は、短期間の募集にもかかわらず、たくさん写真が集まり、地元の人たちも驚いていたようです。それだけ榎平の棚田は、人から注目されているという証拠。榎平の持っている「棚田力」です。

ただその「棚田力」も、タダで(自然に)できているものではありません。「棚田を見る側」は、「風景はタダ」というふうに思いがちですが、地元の人たちの普段の農作業や、いろんな活動が続ける努力によって維持されているのです。ベトナム・サパの棚田では、入り口で入場料を払うという方法がとられていますが、その方法は、今のところ、日本ではなじみません。何か地元の人に棚田の風景を維持してもらえるような還元の方法はないものだろうかと思うところです。



写真家
青柳健二

クリスマス人形劇のつどい（12月16日／創遊館）



「心温まる手づくりの人形劇」

クリスマス人形劇のつどいが12月16日、創遊館で開催されました。今回は、宮宿小学校（小林道和校長）の6年生を始め、山形短大児童文化部など県内人形劇団4団体による公演が行われました。

宮宿小学校6年生は、地域との交流を目的に「総合的な学習の時間」を活用し参加。おはなし会ぶなの実（登坂ひかる代表）のみなさんにより、人形の製作から演技まで一貫した指導を受け、さらには放課後も自主練習を続けてきました。

当日は、18人全員による「オオカミと7匹の子ヤギ」と「てぶくろ」を発表。いきいきと演じるその姿に、来場者からは大きな拍手が送られていました。6年生担任の荒垣靖教諭は、「校内での発表だけでなく、老人ホームなどで人形劇を披露し交流していきたい」と語ってくれました。

調理学校「エコール辻東京」講師によるりんごを使った調理講習

（12月11日／朝日中学校）



はじめての食感に皆心トキメキ

12月11日朝日中学校にてりんごを使った調理講習が行われ、選択科目で家庭科を専攻する3年生22人（男子10人、女子12人）がアップルクランブルというお菓子を食しました。

多くの方が生で食しているりんごも、加工すれば全く別物の味と食感。そんな経験を若いうちから体験することにより、町の特産品であるりんご

に更なる愛着を持ってもらおうと企画。調理学校「エコール辻東京」の主任教授である山崎正也氏が講師を務めました。

お菓子の本場フランスでの修行経験もある山崎氏。製作の途中、料理とお菓子の違いについて「料理は形あるものからいろんなもの（皮や茎、骨など）を引いて仕上げていくのに対し、お菓子は水や粉など形の無いものから形のあるものを作っていくもの」と語るなど、生徒にはお菓子に関する豆知識も教えてくれました。

完成した温かいアップルクランブルは山崎氏特製の冷たいバニラアイスとトッピング。菊地健太君（大谷一）は「生食以外のりんごははじめてです。はじめての食感ですがおいしいです」と語っていました。



焼きあがったアップルクランブル

天候・積雪ともに恵まれたオープン



12月22日、Asahi自然観スノーパークがオープン。関係者約50人による神事が執り行われ今シーズンの安全を祈願しました。

久々の青空に恵まれたこの日。同スキー場には、滑走に十分な量の50センチ(圧雪後)の積雪があり、この日を待ちわびたスキーヤー、スノーボーダーは笑顔でゲレンデに駆け出していました。



なお、この日はオープンを記念して甘酒が振舞われたほか、安全祈願のりんごもプレゼントされました。

1月のイベント情報・・・ご家族そろってお出かけください

1／1 ニューイヤー餅つき大会 (正月餅の振る舞いサービス) 1／5 ジュニアスクールサービスデー…小学生限定の無料スキー講習会 (先着20人／申込み受付中) 1／6・20 スキー子供の日… (小学生リフト無料開放 1／12 レディーススクールサービスデー…18歳以上の女性限定の無料スキー講習会 (先着20人／申込み受付中) ※毎月第1・第3日曜日は小学生リフト無料の「スキー子供の日」※幼児 (小学生未満) は全日リフト無料 ただし保護者の同伴必要)

写真展めくるめく東北

(12月12日～／創遊館)



様々な視点からの「東北」を展示

「めくるめく東北」と題した写真展が1月14日までの日程で、創遊館で開催されています。

1960年代から結婚式、葬式、お盆の墓参り、そして防災訓練など町の日常を撮り続けてきた安藤茂雄さん(松原／平成8年4月から6年間町広報委員長)の作品を中心に据え、東北芸術工科大学大学院の内藤正敏教授の元で学ぶ12人の学生が独自の観点で捉えた「東北」の姿を展示しています。

安藤さんがこれまで撮影した写真のネガは何と約2万5000コマ。パンフレットの中で内藤教授は「(膨大な写真を眺めていると)朝日町という雪深い山村が、まるで生命体のように生き生きと写されていて感動的」と語っています。

ふたば保育園に人権サンタ訪問

(12月21日／ふたば保育園)



「思いやり」や「やさしさ」の心を伝える

クリスマスを目前に控えた12月21日、子どもたちに「思いやり」や「やさしさ」の心を伝える「人権サンタクロース」がふたば保育園を訪れました。

12月中の全国人権週間に合わせて、人権意識の普及高揚を図ろうと、寒河江地区人権擁護委員協議会と山形地方法務局寒河江支局が主催。啓発アニメや、キャンペーンキャラクターの人権まもるくんとあゆみちゃんとのふれあいを通じて、子どもたちに「いじめ」や「仲間はずれ」をしないように呼びかけました。

なお、この日は、日頃創遊館で活動を行っている「よちよちクラブ」も同時開催。保育園児と同様に、27組の親子にサンタクロースからプレゼントが渡されました。



全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

山形地方事務局が主催する同コンテストで、朝日中から白田真唯さん(3年/宿と松田早季さん(3年/栄町)が佳作で入選されました。山形県全体で3285編の応募があった中から選ばれた秀作2作品。今回はそのうち松田さんの作品を紹介します。



ノーマライゼーションの世の中を 朝日中3年 松田 早季さん(栄町)

高齢者や障害者などハンディキャップをもった人々を施設に隔離せず、日常生活のなかで共に助け合っていくのが正常な社会のあり方であるとする考え。これがノーマライゼーションです。

私は前に、父や母に連れられて健常者と障害者が一緒になって歌うコンサートに行ったことが何度かあります。そのコンサートの中である一曲の歌詞にあったのがこの『ノーマライゼーション』という言葉です。最初は意味も分からずに聞いていただけだったけれど、最近母からその意味を聞いて、こんな言葉だったんだ、と心に響いたのを覚えています。そして、こんな世の中にしていきたいと思いました。

私は今まで、障害のある人に対して、自分と同じ一人の人間

だということは分かっていますが、積極的に近づこうとはしてきませんでした。

私の父と母も毎年そのコンサートの出演者です。そして私も、同じクラスのみんなと手話で出

演じた時があります。小学校6年生のときでした。最初はなんでこんな事をしなければいけないのだろかと思っていました。出ても私は何の得にもならないし、練習のときも気が進みませんでした。

人目を気にして、心から楽しむ

ことはできないと思います。だけれどこのコンサートでは、体が不自由な人でも関係なくみんなが楽しんでいます。私は不思議な気持ちでいっぱいでした。このコンサートでたくさんの人達と出会い、ふれ合っていくと、私が今まで考えていたこと自体が恥ずかしいことだということに気づきました。私がコンサートで出会った人達は、体は少し不自由なところがあるかもしれないけれど、心の中は誰よりも健常者でした。積極的に話しかけたりしてくれて、いつでも堂々として明るく、自信に満ちあふれている。私が尊敬するたくさんものものを持っている人達でした。

今の世の中もそうだったことに気付く、変わり始めていると私は思います。今までの人達は、今までの私と同じように障害のある人に対してあまり関わろうとせず、何も知らないのに障害のある人に対しての偏見をもっていたのだと思います。けれど最近はお客さんが手をたたくていたり、ニコニコ笑っていたのは分かりました。こんなに喜んでくれている人達がいるだけで、私は本番前までの嫌な気持ちを忘れていました。

私もし体が不自由だったら、人目を気にして、心から楽しむ

わたしの作品

第62回
山形県総合美術展覧会（県美展）

彫刻部門入選作品

「果」



鈴木 昭由さん
(大谷三)

石工業を営む業者で作る「墓地景観創造研究会」という団体に3年ほど前に加入して、仲間と親睦を深めてきましたが、彼らの多くが毎年県美展に作品を出展していました。

私も「機会があれば、そのうちに…」と思っていましたが、今年のある日、同会メンバーの一人から突然呼び出されました。その人の自宅に着くといきなり50センチ四方ほどの石を出され、「何か作ってみろ」とだけ言われました。

正直何を作ったらいいか全く思い浮かびませんでした。しばらく悩んだあげく、とにかくのみに入れ、角の一つを丸くしてみました。すると、そこが自宅で育てているブルーベリーに見えてきて、さらに面の一つが葉に見えてくるなど、だんだん想像力が沸いてきました。その結果、無我夢中で取り組んだ成果がこの作品です。即興で作ったものですが、この石が持つ特性や質感を少しは出せたのかなとも思っています。

県美展は初めての出展ですが、入賞させていただき、びっくりしています。とにかく、作品を作ること、やってみることに意義があるという信念で、来年以降もチャレンジしていきたいと思っています。

この作品は、1月15日から31日まで、村山総合支庁（山形市）に展示される予定ですので、ぜひご覧ください。

おけまして
おめでとう
ございます

皆様にとって、今年が素晴らしい年でありませう。広報委員一同から御祈念申し上げます。
今年も、皆様に親しんでいただけたら御礼として、より一層心がけた伝言づくりに努めてまいりますので、ご指導とご鞭撻の程をよろしくお願いたします。

広報委員長 清野 則昭（四ノ沢）
同副委員長 登坂ひかる（八ツ沼）
〃 富樫 清志（嵯峨瀬田）
広報委員 遠藤由美子（舟渡）
青井千代太（大陽）
清野 千春（古楨）
五十嵐武喜（本町）
諏訪 紀代（緑町）
阿部 安彦（大谷五）
長岡 由美（太郎二）
鈴木 祐美（助ノ巻）
長岡 季代（総務課）
佐藤 修（産業課）
阿部 祐子（税務課）
木村 朋恵（健康課）
長岡 昭博（建設課）
白田 征治（教育文化課）
清野 雅英（総務課）
佐久間 淳（政策推進課）

担当係長 清野 雅英（総務課）
担当者 佐久間 淳（政策推進課）



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。